

### 3. 総合型選抜学科講義入試（専願）（併願）

#### ■ 募集対象学部・学科および試験会場

学部・学科	試験会場
保健医療学部 理学療法学科・柔道整復学科・鍼灸学科	宝塚キャンパス

※ 同一日程での複数学科への出願はできません

#### ■ 試験日程

日程	専願 併願	出願期間 ※書類締切日:消印有効	試験日	合格通知日	入学手続き	
					一次	二次
前期 課題型	専願	9月 1日(火)～ 9月14日(月)	9月26日(土)	10月 2日(金) 内定通知 11月 1日(日) 合格発表	11月11日(水)	11月25日(水)
後期	専願・併願	9月28日(月)～10月16日(金)	10月25日(日)	11月 1日(日)	11月11日(水)	11月25日(水)

#### 前期（課題型）における入試選考方法および内定通知・合否通知について

前期（課題型）では、10月2日（金）に結果をお知らせします。合格内定の方には、内定通知書とともにレポート課題を同封していますので、自宅で解答（レポート作成）し、指定する期日までに郵送により提出してください。確認テスト、面接、および書類審査の結果とレポート課題を総合的に評価し、11月1日（日）に合否を通知します。

#### ■ 募集対象者

将来、医療人として社会に貢献するために宝塚医療大学で学びたいと強く願い、本学の建学の精神ならびにアドミッションポリシーを理解する者

#### ■ 出願資格

以下のすべてに該当する者

- ①大学入学資格（3ページ参照）を有する者
- ②高等学校・中等教育学校を令和9年3月に卒業見込みの者、また令和7年、8年に卒業した者
- ③「総合型選抜エントリーシート\*」を提出できる者  
\*エントリーシートは、令和8年6月以降のオープンキャンパスまたは入試説明会における総合型選抜事前説明会で配付します
- ④専願による出願は本学のみを志願し、合格すれば入学を確約する者
- ⑤第一志望学科への入学を強く希望する者（複数学科への出願はできません）

#### ■ 選考方法・配点・時間割

選考方法等		試験時間
選考項目	配点	
①学科別講義と確認テスト 志望する学科の講義または実習に参加し、その後、内容の理解度を確認するテストを受ける。(内容は次ページ参照)	100点	10:00～11:35 (95分)
②面接試験 ・一人20分	100点	20分
③書類審査 調査書：学習成績の状況（評定平均値）を基本とし、本学の定める基準に基づき得点化します。 その他の出願書類：学科のアドミッションポリシーに基づき記載内容を評価します。	50点	

※受験人数に関わらず昼食時間を設けます。昼食を必ず持参してください。

#### ■ 出願書類

志望理由書・活動報告書、調査書、総合型選抜エントリーシート

※ 出願書類についての詳細は8・12ページを必ずご確認ください。

## ■ 各学科の講義内容

学科	日程	授業タイトル	内容
理学療法学科	前期	加齢による体力低下の予防と理学療法の役割	フレイルやロコモティブシンドロームは、超高齢社会を迎えた日本が直面している大きな課題です。本講義では、加齢による体力や身体機能の低下によって起こる変化について、身近な例を交えながら分かりやすく解説します。また、理学療法士がどのように身体機能を評価し、運動や生活支援を通して健康な暮らしを支えているのかについて講義します。
	後期	災害と障害者支援－理学療法士ができること－	本講義では、災害が起きたときに障害のある人がどんな困難に直面しやすいのか、そして理学療法士がどのように支援できるのかを学びます。移動の難しさや医療不足、避難所での生活のしづらさなど、実際の災害で明らかになった課題を紹介しながら、避難所の環境づくりや体のケア、必要な道具の工夫などについて分かりやすく説明します。
柔道整復学科	前期	手首から肘関節部までの包帯を巻いてみよう (実技)	本講義では、実際に包帯を巻きながら柔道整復師に必要な基礎技術や固定のポイントについて学びます。基礎的な包帯法について学び、手首から肘関節部までの包帯にチャレンジしましょう。基本となる巻き方を組み合わせながら、患部の状態に応じた固定方法や包帯操作について理解を深めます。
	後期	ケガを支える手の仕事－柔道整復術とは－	骨折・脱臼・捻挫などのケガに向き合う「柔道整復師」の仕事について学びます。柔道整復学の基礎をはじめ、医療現場やスポーツ分野での活躍、施術の考え方をわかりやすく紹介。さらに、柔道整復師に関わる資格制度や各種組織についても学び、医療専門職としての役割や魅力について理解を深める講義を行います。
鍼灸学科	前期	鍼の刺入の基礎技術 (実技)	鍼 (はり) 治療をするには、その基本として、適切な操作で身体に鍼を刺入する必要があります。まずは教員が手本をお見せします。少し練習した後に、刺鍼練習台 (鍼を刺入する練習用の特殊な台) に手本どおりに鍼を刺してみましよう。
	後期	灸の基礎技術 (実技)	灸 (きゅう) 治療をするには、その基本として、もぐさ (灸の材料) を適切な大きさに形を整え、皮膚表面に置き、着火する必要があります。まずは教員が手本をお見せします。少し練習した後に、練習板 (灸の練習をする木製板) に手本どおりに行ってましよう。